

第 99 号
2020 年 (令和 2 年)
2 月

たけはら

市民と議会

<http://www.city.takehara.lg.jp/gikai/>

目次	特集	2
	採決の結果	4
	主な議案	5
	一般質問	6
	全員協議会 議会のうごき	9
	所管事務調査	10

特集

人との出会い・交流・
賑わいの拠点



▲海の駅のスタッフのみなさん

特集

堀越議員 下垣内議員が聞く

人との出会い・交流・

賑わいの拠点

…「たけはらワーフ」を目指して…

2014年にオープンした「たけはら海の駅」は

昨年8月から新しい管理者のもと再スタートしています！

今回は、指定管理者となった(株)いいね竹原代表の

今市さんと駅長の山田さんに、インタビューしました。



竹原の財産である
この場所を地元の
手で新しくつくっ
ていきたい



まずは「海の駅」の
指定管理者として手
を挙げた思いをお聞
かせください。

今市 (株)いいね竹原は、まちづく
り会社ということで平成28年に設
立し、竹原を活性化するために我
々に何ができるだろうかと役員5
人で議論してきました。

その中で、竹原の財産であるこ
の場所を、地元の我々の力で新し
くつくっていくべきではないかと
いうことで応募しました。



(株)いいね竹原
代表取締役
今市 恵誉さん
趣味：ゴルフ



(株)いいね竹原役員
たけはら海の駅 駅長
山田 智嗣さん
趣味：ゴルフとバスケット

地域全体がここを
よくしたいという
意識の高まりを感
じる、それが一番
うれしいです



8月からの半年間
駅長としてどんな
ことを感じていますか。

山田 点から線、線から面へと、
この海の駅を中心とした瀬戸内工
リアの活性化を考えて、大崎上島

の方々にもぜひ協力してください
とお願いました。

今はどんな協力者が現れてい
て、地域全体をよくしていること
という意識の高まりを感じるん
です。せとうちポルトやクリスマ
スイベントでは、市内外より多
くの参加者と協力が集まりました。
また大久野島への定期航路が始まる
など、この海の駅を起点に幅
広い方々が関わり、交流の拠
点になりつつあります。



▲海外からも観光客がたくさん来られています



▲盛況だった「せとうちポルト」

山田 瀬戸内・海・塩をメインとしたテーマで商品を集めています。地元の方が作ったお惣菜や野菜は、とても好評なんですよ。

今市 3階のレストランは、大崎上島のファームズズキさんが、自慢の牡蠣と車エビを中心とした海鮮料理を提供しています。味の違いにびっくりするので、ぜひ一度食べに来てください!



売店・レストランはどんなコンセプトですか。



スタッフの雰囲気はどうですか。

山田 海の駅のスタッフは、年齢層も若く、女性の多い明るく元気な職場になっています。

関東方面から移住してきたスタッフも、地域の生産者の方々から地域のことや商品のことを教えていただいて、地域を盛り上げる心強いスタッフとして日々頑張ってくれています。



竹原市の政策への要望はありますか。

まずは駐車場の整備に取り組んで欲しい

今市 まず急がれるのは駐車場の整備です。常に停めてある車も多く、イベント開催時かなり苦労しました。大久野島便利者の駐車スペースの確保もいるし、観光業者さんからは大型バスの待機所がないという声もあります。有料化も視野に、早急に検討すべきだと考えます。

山田 駐車場を含めて一体的に整備したら、海の駅の活動範囲は大きく広がります。建物だけではな

く、デッキや桟橋・駐車場奥の緑地帯、なにより目の前に広がる瀬戸内海が人を呼び込む財産だと思います。

今市 もう1点は、ビジター桟橋です。事務手続きが煩雑な上に利用範囲も限定的で、瀬戸内海の真ん中という好立地を活かしていないと感じます。

竹原を海の観光の拠点として育てるのであれば、もっともっと海の駅のあり方を一緒に考えていきたいですね。

人との出会い・

交流・賑わいの拠点

「たけはらワーフ」

を目指して



今後の目標についてお聞きします。

今市 瀬戸内海の魅力ある拠点の一つになれるのではないかと、そんな風にこの海の駅の可能性を感じています。

4月からは「道の駅」の指定管理者にもなりますので、連携してまち全体を活性化させたいと考えています。

この海も町並みもそうですが、竹原の人にこれだけの財産が竹原

にあるということに、もっともっと自信と誇りを持ってもらいたいなど。それを伝えていくのがいいね竹原としての一つの仕事かなと思っています。

山田 竹原を中心とするこの瀬戸内エリアの海の恵み、景観、食は誰もが認める素晴らしいものです。ここ「たけはら海の駅」が瀬戸内海の玄関口になるよう、地域の方はもちろん、みなとオアシス様や関係団体と連携し、人々の交流・賑わいの拠点となるよう頑張っていきます。



▲瀬戸内の潮風にフレッシュな笑顔のをせて、ご来店お待ちしております!!

● 令和元年第4回定例会 議案概要・採決結果

令和元年12月10日～令和元年12月20日 ○は賛成 ×は反対

議案番号	議案名等	議案等の概要	付託委員会	下垣内	今田	竹橋	山元	高重	堀越	川本	井上	大川	道法	宮原	吉田	宇野	松本	議決結果	
報告第9号	損害賠償額の決定について	交通事故について損害賠償の額を定めるため専決処分したので報告するもの	省略	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	原案報告
議案第59号	竹原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	竹原市固定資産評価審査委員会委員中 木村健二委員は、令和2年3月6日をもって任期満了につき、その後任委員に同氏を選任するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案同意
議案第60号	広島県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び広島県市町総合事務組合規約の変更について	広島県市町総合事務組合から甲世衛生組合が脱退すること及びこれに伴う広島県市町総合事務組合規約を変更することについて議会の議決を求めるもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第61号	竹原市パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例案	地方公務員法第22条の2第1項第1号に規定する会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償を定めるもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第62号	竹原市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例案	地方公務員法第22条の2第1項第2号に規定する会計年度任用職員の給与を定めるもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第63号	竹原市附属機関設置条例案	地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関の設置等について定めるもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第64号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、会計年度任用職員制度の導入に対応するため、必要な規定を整備するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第65号	竹原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が施行されること等に伴い、必要な規定を整備するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第66号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	地方公務員法及び地方自治法の一部が改正され、特別職の非常勤職員の任命要件が厳格化されたことに伴い、対象とする職を見直す等するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第67号	竹原市歴史民俗資料館設置及び管理条例の一部を改正する条例案	竹原市歴史民俗資料館の施設管理の財源を確保するため入館料を改定するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第68号	竹原市駐車場設置及び管理条例の一部を改正する条例案	榎町市営駐車場を廃止するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第69号	竹原市手数料条例の一部を改正する条例案	住民基本台帳法の一部改正に伴い、住民票の除票及び戸籍の附票の除票について手数料を定めるもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第70号	竹原市伝統的建造物設置及び管理条例の一部を改正する条例案	竹原市伝統的建造物の管理方法を見直すとともに、文化財指定名称への統一化及び入館料・施設使用料等の改定を行うもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第71号	竹原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	児童福祉法の一部が改正されたことに伴い、条例中における引用条項の整理を行うもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第72号	令和元年度竹原市一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ70,407千円を増額補正するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第73号	令和元年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ4,200千円を増額補正するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第74号	令和元年度竹原市介護保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ5,984千円を増額補正するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第1-6号	竹原市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例案	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、会計年度任用職員制度の導入に対応するため、必要な規定を整備するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	退席 原案可決
	閉会中継続審査(調査)について(2 常任委員会)	竹原市議会会議規則第111条の規定により、常任委員会委員長より申し出があったので送付するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決

※「総務」は総務文教委員会 「民生」は民生産業委員会

… 主な 議 案 …

議案第61号 竹原市パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例案

議案第62号 竹原市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例案

- **内容** / 地方公務員法及び地方自治法の一部が改正され、臨時・非常勤職員の任用要件の明確化・適正化が図られたことに伴い、会計年度任用職員の報酬・給与等に関し必要な規定を整備するもの。
- **総務文教委員会での主な質疑**
 - ・ **質疑** / 現在の臨時・非常勤職員の職務の実情は把握しているか。
 - ・ **答弁** / 職員団体との協議を踏まえて条例提案をしており、今後も実態把握を行っていききたい。



議案第68号 竹原市駐車場設置及び管理条例の一部を改正する条例案

- **内容** / 榎町市営駐車場を廃止するもの。
- **民生産業委員会での主な質疑**
 - ・ **質疑** / 廃止後の管理、利活用はどうするのか。
 - ・ **答弁** / 普段は閉鎖し、イベント開催時の臨時駐車場として活用する。

議案第70号 竹原市伝統的建造物設置及び管理条例の一部を改正する条例案

- **内容** / 竹原市伝統的建造物について、管理方法を見直すとともに、名称の統一化、入館料及び施設使用料区分の見直し等を行うもの。
- ◆ **新しい入館料** (19歳以上)
 - ・ 旧松阪家住宅…300円
 - ・ 旧光本家住宅…300円
 - ・ 旧森川家住宅…400円
- **総務文教委員会での主な質疑**
 - ・ **質疑** / 入館料を引き上げることで入館者が減少して減収にならないか。
 - ・ **答弁** / 複数の施設の周遊券の割引率で工夫をするとともに、各施設の付加価値を向上できるような取組を行っていききたい。



討 論

● 賛成討論

今回の条例改正は、市の直営管理を基本とし、指定管理者による管理ができることとする規定に改め、老朽化が進行する伝統的建造物について、次世代へ保存継承していく修理費や施設充実等の財源を確保するため、入館料等を見直す必要な改正だと考え賛成致します。

下垣内 和春

● 反対討論

旧松阪家住宅等3施設の入館料の大幅な値上げは、市民等に負担増を求めない行財政改革を行えば値上げをする必要はありません。文化施設等は収益を大原則とする民間会社等にゆだねてはなりません。市が直接責任をもった公共施設の管理運営に戻すべきです。

松本 進

議案第72号 令和元年度竹原市一般会計補正予算 (第3号)

7,040万7千円 増額補正

- **図書館管理運営検討業務委託料**…………… 242万円
- **内容** / 図書館サービス及び図書館における資料管理等、本市の規模に見合ったより適切な図書館の管理運営の在り方について検討を行う。
- **総務文教委員会での主な質疑**
 - ・ **質疑** / 委託の検討範囲は。
 - ・ **答弁** / 指定管理制度も視野に入れて、今後の管理運営方針を策定する為、本市の図書館サービスの在り方について検討するものである。
- **その他の主な事業**
 - ・ 被災住宅応急修理事業…………… 223万2千円
 - ・ 県営急傾斜地崩壊対策事業…………… 1,195万2千円
 - ・ 市道忠海中学校線道路改良事業…………… 4,000万円





いまだ よしお
今田 佳男

●ふるさと納税について
●社会貢献活動に関する兼業について
●小中学校の適正配置について



【質問】ふるさと納税では、竹原市でも宿泊型の竹細工体験コースなど、特徴ある返礼品を検討すべきではないか。

【答弁】市長 本市の素材を掘り起こすとともに、宿泊や体験に関する返礼品について速やかに準備を進め、より多くの方にご寄附いただけるよう、関係事業者と連携し必要な取組を進めてまいります。

【質問】寄附金の活用方針は。

【答弁】市長 本市を応援する寄附者の思いを市政に最大限反映させ、元気な竹原市を実現していくためにも有効に活用してまいります。

【質問】職員の兼業許可制度について許可基準を明確化し、職員が社会貢献活動に励む環境を整備する必要があると思うが。

【答弁】市長 本市におきましても、今まで以上に職員自らまちづくりの担い手である自覚を持ち、自発的に考え行動できる人材となることが求められています。そのため、この制度の導入は市民の皆様とともに地域の課題を考え、行動し、解決することができると

を備えた職員を育成していくために有効な手段のひとつであると考えており、先進事例を含め、今後研究してまいります。

【質問】急速に少子化が進んでいる。子どもたちの教育環境を守り、改善するためには、早急に小中学校の適正配置を検討する必要があると思うが。

【答弁】教育長 学校の適正配置は、教育委員会において再度議論する必要があると考えており、今後、有識者に加えて、保護者や地元の方々にもご意見を伺いながら、検討を進めてまいります。

【質問】ふるさと納税では、竹原市でも宿泊型の竹細工体験コースなど、特徴ある返礼品を検討すべきではないか。

【答弁】市長 本市の素材を掘り起こすとともに、宿泊や体験に関する返礼品について速やかに準備を進め、より多くの方にご寄附いただけるよう、関係事業者と連携し必要な取組を進めてまいります。

【質問】寄附金の活用方針は。

【答弁】市長 本市を応援する寄附者の思いを市政に最大限反映させ、元気な竹原市を実現していくためにも有効に活用してまいります。

【質問】職員の兼業許可制度について許可基準を明確化し、職員が社会貢献活動に励む環境を整備する必要があると思うが。

【答弁】市長 本市におきましても、今まで以上に職員自らまちづくりの担い手である自覚を持ち、自発的に考え行動できる人材となることが求められています。そのため、この制度の導入は市民の皆様とともに地域の課題を考え、行動し、解決することができると

●今年度の小学校の児童数 (学校要覧)

6 年 生	183人
5 年 生	178人
4 年 生	184人
3 年 生	154人
2 年 生	150人
1 年 生	152人
合 計	1,001人
1 年 間 の 出 生 数	
H29.4.1~H30.3.31	104人



まつもと すすむ
松本 進

●市民の生活排水処理計画について
●教員の長時間時間外勤務の是正はまったなし！



【質問】①竹原市汚水適正処理構想(平成30年度策定)の公共下水道汚水処理事業では完成を10年後としているが、財政健全化との関連は。

【答弁】市長 ①財政健全化計画では投資的経費の見直しも行うこととしており、この事業による財政への影響は最小限に抑えることも必要であると考えております。

②広島中央環境衛生組合とその構成市町による地域計画は令和2年度までの7年間で51.8基の整備を目標とし、次期計画でも引き続き進めることとしております。

【質問】①平成28年度比で各小中学校教員の勤務・残業時間はどうなったか。

②教職員定数を算定する義務標準法(昭和33年制定)に基づく教職員定数と「学校における働き方改革取組方

【質問】①竹原市汚水適正処理構想(平成30年度策定)の公共下水道汚水処理事業では完成を10年後としているが、財政健全化との関連は。

【答弁】市長 ①財政健全化計画では投資的経費の見直しも行うこととしており、この事業による財政への影響は最小限に抑えることも必要であると考えております。

②広島中央環境衛生組合とその構成市町による地域計画は令和2年度までの7年間で51.8基の整備を目標とし、次期計画でも引き続き進めることとしております。

【質問】①平成28年度比で各小中学校教員の勤務・残業時間はどうなったか。

②教職員定数を算定する義務標準法(昭和33年制定)に基づく教職員定数と「学校における働き方改革取組方

【質問】①竹原市汚水適正処理構想(平成30年度策定)の公共下水道汚水処理事業では完成を10年後としているが、財政健全化との関連は。

【答弁】市長 ①財政健全化計画では投資的経費の見直しも行うこととしており、この事業による財政への影響は最小限に抑えることも必要であると考えております。

②広島中央環境衛生組合とその構成市町による地域計画は令和2年度までの7年間で51.8基の整備を目標とし、次期計画でも引き続き進めることとしております。

【質問】①平成28年度比で各小中学校教員の勤務・残業時間はどうなったか。

②教職員定数を算定する義務標準法(昭和33年制定)に基づく教職員定数と「学校における働き方改革取組方

●公共下水道汚水処理事業(見込み)

総事業費	約 30 億円
国庫補助	約 10.6 億円
起 債	約 18.1 億円
一般財源	約 1.3 億円

【質問】①平成28年度比で各小中学校教員の勤務・残業時間はどうなったか。

②教職員定数を算定する義務標準法(昭和33年制定)に基づく教職員定数と「学校における働き方改革取組方

【質問】①平成28年度比で各小中学校教員の勤務・残業時間はどうなったか。

②教職員定数を算定する義務標準法(昭和33年制定)に基づく教職員定数と「学校における働き方改革取組方

【質問】①平成28年度比で各小中学校教員の勤務・残業時間はどうなったか。

②教職員定数を算定する義務標準法(昭和33年制定)に基づく教職員定数と「学校における働き方改革取組方

H28年度	2時間28分
H30年度	1時間59分



しもがきうち かずはる
下垣内 和春

●平成30年7月豪雨災害からの早期復旧・復興と防災について
●生活交通について
●財政健全化について



質問 災害からの復旧工事は3ヶ年で完了するのか。

答弁 市長 令和2年度内の復旧を目指しているが、施工業者の数や体制にも限りがある状況にあります。

主任技術者等の兼務制限の緩和など入札の不調、不落の防止を図りながら、1日も早い復旧に努めます。



質問 市庁舎をはじめとする公共施設の耐震化ができてくるのか。

答弁 市長 市庁舎と市民館については、耐震性が十分確保できている状況にない。これらの施設への対応は、喫緊の課題であることから、財政健全化に向けた取組を着実に実施し、財源確保を図りながら、できる限り早期に、公共施設ゾーン整備事業の今後の見通しについてお示ししたいと考えております。

質問 生活交通はまちづくりの手段として、必ず必要と考えるが、今後の対策に

ついて。

答弁 市長 地域交通網形成計画に基づき、持続可能な交通体系の構築につなげてまいります。

質問 財政健全化での人件費の見直しについて、今後の具体的な取組は。

答弁 市長 人件費の見直しは避けては通れないものであり、目に見える形で市民に示していくことが必要であります。

早期の財政健全化を達成するため、給与制度の適正化など人件費の見直しに取組んでまいります。

質問 財政健全化を進めていく上で、業務の効率化をあげながら組織のスリム化を図り、職員数の見直しや事務事業の民間委託をしていくことが有効な手立てと考えるが、今後の取組は。

答弁 市長 職員の適正化については、行財政経営強化方針アクションプランにおいて定員管理を行います。また、抜本的な業務の見直しや廃止・民営化などを、前例にとらわれることなく推進することが、本市に特に必要と考えております。



よしだ もとい
吉田 基

●市庁舎の老築朽化と移転問題
●上下水道、し尿処理及びごみ問題について
●公共交通について
●パワハラ・セクハラ・いじめ問題について



質問 耐震性が不十分な現庁舎移転について具体的な案等の説明もなく、維持補修等で、いたずらに経費を浪費している状況。今後どの様にしていくのか。

答弁 市長 市庁舎をはじめとする公共施設ゾーン整備事業につきましては、厳しい財政状況が見込まれる中で、財源確保を図りながら、事業の着手時期や事業内容の検討を進めてまいります。

質問 公共上下水道料金の改定、ゴミの有料化、し尿処理には、今後どの様に取組んでいくのか。

答弁 市長 水道料金については、水需要の動向や収支状況の把握に努め、更なる経営の健全化及び効率化に取り組みながら、料金の改定について検討してまいります。下水道使用料の改定やその時期などについても、総合的に判断し、適切に対応してまいります。

中央環境衛生組合が令和3年の供用開始に向けて、新しいごみ処理施設の建設を進めています。これに合わせて、ごみ処理の有料化を検討しています。し尿処理については、現

在課題抽出を行っており、関係事業者等とも調整を進めてまいります。

質問 公共交通(デマンド)のあるべき姿についてどのように考えているのか。

答弁 市長 現在、地域公共交通網形成計画の策定を進めており、今後、この計画に基づき、情報発信、快適な待合環境づくりや地域を巡回する交通手段の確保などを検討、実施しながら、持続可能な交通体系の構築に繋げてまいります。

質問 パワハラ・セクハラ・いじめは、絶対に許さないと強い決意を持って、誠実に取り組むことが必要です。

竹原市として、それらの防止と対策について、どのように考えているのか。

答弁 市長 パワハラなどハラスメントの防止は職場において取り組むべき重要課題の一つであります。

今後におきましても、職員のアラメントに対する理解を深め、組織全体でハラスメントの発生しない組織風土の醸成、体制づくりに向けて取り組んでまいります。

全員協議会報告 12月13日

財政健全化計画の取組状況等について、今年度の取組状況や今後の取組について報告があり、多くの議員が質疑をしました。

■今後の取組みの主な質疑

●事務事業の見直し

・吉名・荘野出張所の廃止

Q廃止にしたらサービス低下になるのでは。期日前投票所となっている所はどうするのか。

A利用者の減により集約を考えている。投票所については民営施設や公共交通など総合的に考える。

・美術館の休止

Q展示物の保管はどうするのか。

A今井政之先生の作品・池田コレクションは収蔵機能があるところに一時保管し、それ以外は民間の展示施設や松阪邸で展示するよう考えている。

・東野保育所の廃止

Q昨年の災害で修繕したのになぜ廃園対象にするのか。

A修繕したのは子供が通園しているからで、通園人数によっては廃園対象として協議する。

・ご長寿賑わい事業補助金の廃止

Qなぜ補助金(敬老会補助金)を廃止にするのか。

A竹原町など敬老会を行っていないところとの公平性を考え、今後は介護関係の事業に変更する。

●人件費の見直し

Q人件費の見直しはどうするのか。

A職員の給料の適正化や定員管理の最適化を図り、市民に理解を得られるよう取り組みたい。

Q市民に理解が得られるような給与制度とは。

A代表的なものはラスパイレス指数の数値が高いということだが、今年度は100を切る見込みである。将来を見据えたうえで、本市の団体規模に応じた給与制度にするということである。

●歳入確保

Q歳入確保の取組みの目標額、新たな取組は。

A目標額は2020年度2800万円で、ふるさと納税の増加や*ネーミングライツについて取り組み、目標達成できるよう頑張っていきたい。

かぐやパンダの豆知識



*ネーミングライツとは

公共施設やイベントに愛称を付与する権利。

《現在募集中のネーミングライツパートナー》

- 対象 総合公園バンブージョイハイランド
- 募集期間 R2年1月20日～R2年2月13日
- 期間 R2年4月1日から5年間
- 金額 年額50万円以上



議会のうごき

- 10月30日 民生産業委員会行政視察(～1日)
山口県周南市、福岡県豊前市、佐賀県鹿島市
- 11月6日 総務文教委員会行政視察(～8日)
大阪府堺市、泉佐野市、奈良県明日香村、斑鳩町
- 11月18日 議会運営委員会
広島県市町総合事務組合議会定例会
- 11月20日 民生産業委員会
- 11月22日 総務文教委員会
- 12月4日 議会運営委員会
- 12月10日 第4回定例会(～20日)
- 12月12日 総務文教委員会
- 12月13日 民生産業委員会・全員協議会
- 12月14日 広島中央環境衛生組合全員協議会
- 12月16日 本会議 一般質問(～17日)
- 12月19日 総務文教委員会
- 12月20日 議会運営委員会(会期中)
- 12月26日 広島中央環境衛生組合議会定例会
- 1月24日 議会運営委員会

●他県からの視察研修を受け入れました

- 11月7日 埼玉県深谷市議会
- 11月19日 岐阜県羽島市議会
- 11月21日 和歌山県美浜町議会
- 1月14日 岩手県盛岡市議会
- 1月15日 三重県松阪市議会
- 1月16日 愛知県海部郡大治町議会
- 1月22日 静岡県伊東市議会



※この間、広報広聴委員会は7回開催しました。

管事務調査

《総務文教委員会》 委員長 今田 佳男

行政視察

日程	11月6日	堺市	廃校跡地の利活用
	11月7日	泉佐野市 明日香村	財政健全化計画の推進及びその後の取組 企業版ふるさと納税の取組
	11月8日	斑鳩町	企業版ふるさと納税の取組

●財政健全化の取組について 《大阪府泉佐野市》

- ・遊休財産の処分……………普通財産や処分可能な遊休土地及び里道・水路を売却
- ・使用料等の徴収事務の見直し……………一体徴収に向けた取組を行った
- ・ふるさと応援寄附金制度の取組拡充
- ・人件費の抑制…特別職の報酬、職員給与、議員報酬のカット
- ・公共施設の統廃合等の推進
- ・指定管理者制度、業務委託化の推進

泉佐野市は平成20年度決算で財政健全化団体となり、平成22年に平成39年度までの財政健全化計画を策定しました。実施プランを確実に実行した結果、平成25年度決算で計画を14年前倒しで達成し財政健全化団体から脱却しました。竹原市においても財政健全化計画が策定されています。今後も調査研究を続け、提言をしていきたいと思っています。

■竹原市防災ハザードマップの作製・配布について（12月12日）

質疑 昨年被害のあった東野地域交流センターが避難所となっているが。

答弁 災害の種別によっては対応できないこともあるので、状況に応じて避難所が開設できるかどうかを判断して対応していきたい。

質疑 市民への説明が必要ではないか。

答弁 出前講座や今年度からの自主防災のリーダー研修等もしています。消防団などの防災の関係機関も含めて周知に努めていきたい。

質疑 早めの避難を促すために、カメラを利用した情報発信ができないか。

答弁 視覚、映像で被害状況がわかるということは、有効な手段と考えています。タネットと連携をとりながら検討していきたい。

◆災害リスクへの備え 早めにやっておく事前の備え

調べておく

災害リスクを把握する

- ・ハザードマップで自宅や地域の災害リスクを調べておく。
- ・自治体のウェブサイトや市役所の窓口でも確認できます。

▼竹原市のサイトからも確認できます。
竹原市 ハザードマップ

自宅だけでなく、学校、勤務先などの災害リスクも調べておこう



点検・整理をしておく

家の周りを点検・整理する

- ・吹き飛ばされそうなもの(物干し竿やプランターなど)はないか。
- ・雨戸や雨どいは傷んでないか。
- ・排水溝のつまりはないかなど。



歩いて確認しておく

避難行動を想定する

- ・地図で最寄りの避難場所を確認。
- ・大雨で冠水しそうな場所、土砂災害のおそれがある箇所などをチェック。
- ・危険を回避するルートを確認。(最短距離にこだわらない)



自分なりの準備をしておく

自分の家や家族状況に合わせて必要な準備を整えておく

- ・非常用持ち出し袋の準備。
- ・土のうや止水板を用意。
- ・停電・断水対策用品の確認など。



■竹原小学校でのプログラミング教室を視察（12月19日）

掛町商店街振興組合と一般社団法人RoFReCの協力より実施された、ロボットを使ったプログラミング教室を視察しました。普段の授業でもタブレット端末を使用している児童たちは、パソコンへの入力に苦勞することもなく、ロボットを指示通りに動かしていました。今後も教育の現場を知る機会を設けていきたいと思います。



▲夢中になる子どもたち

常任委員会所

《民生産業委員会》

委員長 竹橋 和彦

■行政視察

日 程	10月30日	周南市	道の駅ソレーネ周南の運営について
	10月31日	豊前市	老朽危険家屋等の対策について
	11月 1日	鹿島市	産業活性化施設「海道しるべ」について

●道の駅ソレーネ周南の運営について

《山口県周南市》

「地域福祉を行う道の駅」として

- ・ 買い物弱者対策として移動販売を実施
- ・ 高齢や遠方の農家の生産物を、提携業者が自宅近くから道の駅へ運搬する仕組みを導入

物品販売での工夫

- ・ コンビニへの委託により、24時間いつでも地元商品が購入できる運営を実施

本市の道の駅は、指定管理者が変更になるなど転換期にあることから、今後も収益改善を図る上で好事例を調査研究していきます。

●老朽危険家屋等の対策について

《福岡県豊前市》

費用負担を軽減する取組

- ・ 解体費の1/3、最大30万円を補助
- ・ 最長10年間、解体後の固定資産税を減免

空き家の活用にも注力

- ・ 空き家所有者へのアンケートや専任の職員を採用するなど空き家バンクへの登録を促進

本市も空き家の増加・老朽化の問題を「空き屋等対策計画」に基づき、適切な対応をしていくよう求めています。

●産業活性化施設「海道しるべ」について《佐賀県鹿島市》

市民に開放された産業活性化の拠点施設

- ・ 各種調理設備が揃った加工研究室
- ・ 生産者や小売業者が自由に独自の商品開発に利用

観光資源としての活用

- ・ 婚活イベントや料理教室を実施
- ・ 有明海を一望できる好立地であり、来場者は年間2万人を超えている。



本市にも産業活性化を目的とした同様の施設として郷土産業振興館を整備していますが、6次産業化に向けた商品開発の取組など農水産業の振興を図っていく上で大変参考になりました。

■竹原港北崎地区駐車場について (11月20日)

- ・ **趣 旨** 長期にわたる放置車両があり、港湾管理上支障が生じていることから、竹原港の駐車場 (133台分) の状況調査について報告を受けました。
- ・ **結 果** 1週間以上放置…10台 1か月以上放置…5台
- ・ **今後の方針** ①放置車両対策 ②駐車場の有料化の検討
委員からは、放置車両対策には駐車場の有料化が有効な手段であり、市が財政健全化への取組を推進する中、公有財産を有効に活用するためにも早期に有料化に向けた整備を進めるよう意見が出ました。当委員会としては、引き続き報告を求め提言していきたいと考えています。



特集

人との出会い・交流・

賑わいの拠点

…「たけはらワーフ」を目指して…



◀新鮮な海の幸



▲新しく就航「うさぎの思い出」号

まちづくり会社「株式会社いね竹原」の方から伝わってくる郷土愛の熱量は非常に高いものでした。

「たけはら海の駅」の指定管理者として、愛するふるさと竹原の持つ潜在能力と魅力を引き出し、それを形にするため、精力的に取り組んでおられ、大久野島への定期航路就航も追い風となつていきます。

また、市の魅力を点から線、線から面へ広げて行くため、4月から「道の駅たけはら」の管理・運営も予定しています。

今回の取材を通して、経験豊かな民間事業者としての幅広い視野を生かし、市の活性化の起爆剤としてシナジー効果を最大限発揮して頂けるものと確信しました。

また、周辺整備の課題も沢山頂いたので、しっかりと形にしていきたいと思います。

堀越 賢二

お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube JP

竹原市議会

検索



次回定例市議会は、2月中旬からの予定です。みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

自然災害と地球温暖化を考える

オーストラリアの森林大火災、マリーシャル諸島共和国の水没危機。日本でも、昨年の台風や一昨年の西日本豪雨など、地球温暖化の影響とみられる災害が頻発しています。竹原市でも、平成30年7月豪雨は甚大な被害を及ぼしました。

いま、懸命な災害復旧工事が取り組まれています。が、崩れへの復旧工事など公費の補助対象外で対応が遅れ、不安に感じている市民の声もあります。

いまこそ、災害に強い国土形成が必要です。同様に異常気象の根源を取り除く政治が急がれるのではないのでしょうか。

松本 進

「広報広聴委員」◎委員長 ○副委員長

◎井上美津子 ○今田 佳男

下垣内和春 堀越 賢二

道法 知江 松本 進